



# ゆうごう



## 会員名簿ができました

遅くなりましたが、会員名簿を同封いたしました。入会届が次々と届けられていますのでまだまだ増えると思いますが、とりあえず12月1日現在の会員分です。会員同士の情報交換等にご利用ください。また、誤りがございましたら事務局までご連絡ください。

入会の意思表示をしながら登録用紙を送っていただけなかった方がいらっしゃいましたので(手続きをもっと簡略化するとよかったと反省しております)、名簿整理の都合上催促等をしましたのでご不快になられた方がいらしたらご容赦ください。

## 事務局に電子メールがきました。(miyazaki@jb3.so-net.or.jpです)

会員の皆様から、いろいろと資料が送られてきています。また問い合わせやそれぞれの地域でのイベント情報の連絡も入ります。そこで、事務局にパソコンを入れてメールでの対応ができるようにもしました(インターネットは、勉強中ですのでしばらくお待ちください。また経費は、事務局員の好意で「個人持ち」とさせていただくことができましたので、会費からの支出は当分の間ありません)。皆様からの情報をどしどしお寄せください。また、お互いに情報交換ができるように、会員登録用紙にメールアドレスの記入をお願いしましたが、記入欄が狭く読みにくいものが多かったので、本日同封の会員名簿には記載しませんでした。メールアドレスをお持ちの方は、あらためてFAXかメールでお送りください。

## 会員より

大切な論文をありがとうございました。ワクワクしながら読みました。書かれている以上に大変だろうと痛感しました。そして、自分の現在の環境の中でどれだけ秋津小学校のようなことが可能だろうかと考えさせられました。私が育つ頃は、どこでも秋津小学校のようなコミュニケーションが少なからずあった様に思います。近所の付き合いにしても、お年寄りがそばにいるということにしても・・・

今、自分が親になってみて、そして年をとっていくときのことを考えると、自分のできることで皆に喜ばれたり頼りにされたりすることは、どんなに励みになるだろうと思います。子どもたちにとっても、親以外の大人に接して自然に大切なことを教えてもらったり、優しさ・思いやりが育っていきますよね。それを現実にしてしまった秋津小はすごいです。自分の子どもに対する接し方・子どもの友達・親・近所・・・いろいろな人と関わりがあって、その一つひとつを子どもは見ているんですね。そう思うと子どもの友達に対しても、真剣に受けとめてあげなくてはなんて思ったりして。

秋津小学校の活動を知って、今はちょっと見方がかわってきました。とりあえず、私のすぐ身近な付き合いから初めてみようかなと思っています。お菓子もできるだけ手作りしようと思い、試してみたら子どもたちが喜んでくれるので、今はヒマを見つけてはチャレンジしています。(神奈川・PTA会員)

読売教育賞の論文は地域の方との連携の始まりから、子どもとの身近な触れ合い、自然な形で行動に移され、その積み重ねでいろいろな成果を生み出されたこと、家庭の教育力の向上、そして敬老の日に6年生が地図を見ながら高齢者へのお手紙配り等感心いたしました。お子たちに自然に吸収されるすばらしい心の教育であり、勉強とともに潤滑油となって次の世代を担う人づくりとしてとてもたのしく思いました。「できる人が、できるときに、無理なく、楽しく」この魅力ある言葉、わたし大スキです。秋津小学校の和が大きく大きく世界に広まって行きますよう発展繁栄をお祈り申し上げます。

(和歌山・老人会婦人)

過日は、公務ご多忙の折り、視察をお引受け下さり誠にありがとうございました。懇

切丁寧なご説明と実践活動を拝見し、貴校の実践の概略を理解することができました。「開かれた学校」「学校・家庭・地域社会の新たな連携」といったキーワードを受けて、当区として学校・学校教育の中でどのように具現化するかを喫緊の課題としております。今後は、視察の成果を当区の生涯学習施策に少しでも生かせるよう努力する所存でございます。（東京・区教委担当者）

## 事務局保管資料

事務局には、会員およびその他の方からの学校と地域の融合に関する実践事例集等の資料がいくつか届けられております。なお発行先の了解があるものは、簡単な内容紹介と連絡先をつけましたので、資料が必要な方はご自身で連絡をとってください。

また、会員の皆様で、お手持ちの資料や発行先の情報をお持ちの方はご一報ください。その際、「掲載の可否、資料請求の可否」についても添えていただきますと有り難いです。

### 生涯学習宣言市町村事例集（国立教育会館社会教育研修所発行 全440ページ）

H8.7.1現在の北海道から沖縄までの107市町村の生涯学習事例が紹介されている。

### 生涯学習まちづくり出前講座資料集（同上 全502ページ）H9年度版

北海道から鹿児島までの48市町村の生涯学習事例と建設省中部地方建設局の地域コミュニケーション大綱および東京成徳大学の移動公開講座が紹介されている。

### 「生涯学習推進に関する研究会」報告書（大阪市隣接都市協議会発行 全109ページ）

平成8年度における本研究会の目的・構成・経過等の活動概要と大阪市近隣の生涯学習の取組み状況および千葉県（秋津小学校も紹介されております）・群馬県の実地調査の概要、また今後への課題と方策等のまとめの報告書。

### 「学社連携・融合の在り方について」（栃木県教育委員会発行 全163ページ）

平成7年度文部省委嘱事業として、筑波大学「山本恒夫」教授（本会会員）を委員長として取り組んだ報告書の概要。

1. 生涯学習時代の家庭・学校・地域社会の連携・融合の在り方
2. 学社連携・融合をすすめるための行政施策の在り方
3. 資料編

### 「学校と地域社会が一体となって子供たちに「生きる力」を育むために」

（栃木県教育委員会発行 全109ページ）

平成8年度文部省委嘱事業として、筑波大学「山本恒夫」教授（本会会員）を委員長とする「学社連携・融合調査研究委員会」と淑徳短大「浅井経子」教授を委員長とする「学社融合事業等開発専門委員会」とで取り組んだ前年に次ぐ継続研究の報告書。

1. 学社融合推進のためのコーディネーター・ボランティアの養成と研修
2. 学校の教育課程に位置付けられる「学社融合」の事例
3. 社会教育における「学社融合」事業事例
4. 市町村教委・公民館等における実践的な「学社融合」事業事例
5. 実施要綱や配置要領等の資料・参考文献等

### 「はばたけ 秋田っ子」教育改革-秋田市からの報告-（平成9年3月）

（秋田市教育委員会編 全53ページ）

1. 秋田市の学校教育改革と施策
2. 平成8年度実践記録
3. 資料編

### 平成8年度学社融合における具体的展開「体験活動と教科を連動させた授業案」

（福岡県立社会教育総合センター発行 約100ページ）

学社融合の視点から社会教育施設の特性を生かし、社会教育が得意とする体験を取り入れた授業案を学校の授業時数にカウントできるように整理した小冊子。

1. 福岡県立社会教育総合センター編
2. 福岡県立英彦山青年の家編

3. 福岡県立少年自然の家「玄界の家」編
4. その他

## 特色ある学校づくり「マイル・マイタウン」研究発表会要録

- 研究主題「地域を知り地域とふれあい地域を愛する子どもの育成」（全93ページ）  
（福岡県鞍手郡若宮町立吉川小学校発行）
1. 学習指導案
  2. 授業実践後の研究考察

## および「マイル・マイタウン推進事業発表会要録」（全76ページ）

- （福岡県鞍手郡若宮町立吉川小学校ほか5校編）  
福岡県教委および若宮町教委研究指定・委嘱による1中学校と5小学校が共同で取り組んだ研究の研究発表会（平成8年10月30日実施）要録
1. 推進テーマについて
  2. 推進計画
  3. 推進の実際
  4. 成果と課題

## 生涯学習社会における「家庭、地域と共にある学校のあり方について」平成9年6月

- （東京都足立区社会教育委員会議発行 約40ページ）  
社会教育委員会が全体会や専門委員会で調査検討を行って結論を得た答申書。
1. 生涯学習体系に向けて開かれた学校
  2. 新しい連携の中軸としての学校
  3. 具体的提言
  4. その他

## 現状分析と聞き取り調査による「地域人材の活用のあり方」平成9年3月

- （平成8年度千葉県長期研修生・野田市立七光台小 矢島基一）全90ページ  
平成8年度千葉県長期研修生として千葉大学教育学部に籍をおいて研究したもの
1. 研究の実際
  2. 資料編

## 子ども参加型地域づくり教育システムの模索「伝統都市金沢を例に」平成7年6月

- （財団法人 地域振興研究所編 全20ページ）  
福井大学教育学部「荒井紀子」助教授を研究代表者に金沢市の地域・文化等に適合する子ども参加型教育プログラム構築の可能性と有効性を検討するとともに、地域づくり教育のための新たな方向性をしめすことを試みた報告。（総合研究開発機構（NIRA）助成研究「地域社会と教育」より抜粋したもの）
1. アメリカでの子ども参加型環境教育の取り組み
  2. 日本での子ども参加型環境教育の取り組み
  3. 金沢市での子ども参加型環境教育の適用可能性の検討
  4. 新たなまちづくり（人工環境）教育システムの提言

## ほかに、「身近な環境と子どもたち」を考える会活動記録

みんなで創り上げたまちづくり活動の記録「人知駈夢街'95」  
杜の里商店街魅力UP大作戦の巻  
その他

## 「輝く学校」（新潟県見附市立見附小学校編著 全155ページ）1996.7.

- 6  
「一人一人の子どもたちや教師がぐんぐんのびてほしい。一人一人の保護者や市民がやわらかく学校を見つめてほしい」との願いから、子どもと教師、保護者や市民の力強い結びつきのもと精魂込めて実践した研究の内容と、大学教授等による特別寄稿。
1. 研究の全体編
  2. 子どもが輝く授業をめざして
  3. 特別寄稿

## 「心豊かな子どもを育む体験活動をめざして～地域との融合の中で～」(全14ページ)

「伸びよ青藍の子～地域との融合によせて～」(全66ページ)

(平成8・9年度佐賀市教育委員会研究指定「佐賀市立嘉瀬小研究収録・学習指導案」  
平成9年11月20日公開研究発表)

## 「宮崎市の生涯学習」(全11ページ)

1. 生涯学習推進体制の整備・充実
2. 生涯学習に関する市民啓発
3. 学習機会の拡充
4. 学習情報の提供
5. 研修・研究事業

その他、「みやざきの“わざびと”大募集」(人材登録活用事業運営要項)

## 静岡県大井川町の教育概要(社会教育のページを抜粋)

1. 目標
2. 具体的取組み
3. 学校5日制と社会教育
4. その他、社会教育事業や施設・関係団体・社会体育等

## 佐野市学社連携・融合モデル事業実施要綱

・趣旨、内容、組織、会議、委員会、指定等の規約。学校委員会・公民館委員会等についても明記されている。

今後、届きしだい会報でお知らせいたします。

### 編集後記

第1号に引き続いて、第2号をお届けします。今回発行の趣旨は、第1号で予定していた会員名簿の送付にありました。会員相互が連携し合うには互いの情報交換は不可欠であり、そのための名簿は必需品だと感じているからです。さらに事務局に寄せられた多くの実践資料は、熱のこもったものばかりであり、是非とも皆様に早くに紹介したいと思ったからです。内容まで詳しくは載せられませんが、ご連絡を取り合って情報交換していただくと幸いです。

## 記事および予告募集

会報に載せてほしい記事およびイベント等で会員に予告して、参加を呼びかけたいことがありましたら、事務局までお寄せください。

### 次号の予告(3月末頃の発行予定)

第3号では、次の内容を予定していません。  
学校開放の問題点について  
会長所感(なぜ、融合研の設立を思い立ったか)  
今後のミニフォーラム予定  
全体会について  
イベント案内  
その他(会員からの情報)

## ただいま会員募集中

融合研では、会員を募集しています。学校と地域の融合教育に関心のある方、まちづくりに関心のある方なら、どなたでも会員になれます。皆様のお近くで、そのような方がいらっしゃいましたら誘ってください。



ミニ

# フォーラム



## クラブ活動に地域の人材を引き込むには

上記のテーマで、第一回ミニフォーラムを開催します。  
教課審の中間まとめも出ました。これから2003年を目安にした様々な試みが行われることが予想されます。中でも学校と地域の融合に関する試みは、避けて通れないことでしょうし、これからますますどこでも盛んになる内容であろうと思います。

特にこれから連携を始めようとしている学校や、始まったばかりという学校・地域の方々にとって、学校と地域のゆるやかな連携・融合のスタートは、特別なイベントを開催することよりも、どの学校にも教育課程に位置付けられている「クラブ活動」から手をつけるのが無理がないのではないかと考えます。そこで、連携が成功している例を元に、具体的な苦労話や裏話・秘策などで、参加者に明日からの方向が見えるようにできたらいいなと思い今回はこのテーマを設定しました。

どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上（おひとりでも）是非ご参加ください。

**と き** 1997年12月20日(土)2:00~5:00

**ところ** 秋津小学校コミュニティルーム

**内 容** クラブ活動への保護者や地域の参加について「その理念や方法」

**会 費** 融合研会員-- 500円

非会員--1,000円

（当日、年会費《2,000円》を支払って会員になる方は「読売教育賞受賞論文」をはじめ融合研資料をつけて、会員と同額になります）

**申込み** FAX 0474-51-8112 か、TEL 0474-51-8111

で事務局まで。当日でも受け付けます。（夜間は、TEL・FAXとも 043-489-7809）

### プログラム（途中からの参加・退席は自由です）

13:30 ~ 受付

14:00 ~ ミニフォーラム開始

提言 -- 秋津小学校教員より

秋津地域のクラブ活動員より

全国の融合教育の現状（日本教育新聞記者より）

討議 -- ・大人を加わりやすくする方策について

・教師の理解を得やすくする方策について

・子どもが喜ぶ協力・連携の仕方について

・長続きできるような方策について

17:00 ~ 懇親会（会費 1000円程度、希望者で）

# 子どもたちと一緒に クラブ活動を楽しみませんか

日ごろから、秋津小学校へのご協力に感謝申し上げます。  
さて、秋津小学校では平成3年度より、4・5・6年生の全員が行っているクラブ活動に地域の大人の方のご協力をいただいて、一緒におこなってまいりました。技術的に上達したり、また質の高い活動ができた、子どもだけでは少人数であっても大人が加わることで試合ができた、子どもたちには大好評です。また、一緒に取り組んでくださる地域の方からは、「同じ地域に住む子どもたちと知りあえて、思わぬところで声をかけられたりして嬉しい」、「卒業後も声をかけやすく、町の子どもであるという実感がする」、「子どもが卒業したあとも学校と関わりがもてて学校が身近な存在と感じる」等の声が寄せられております。

しかし、このような一体となった活動があることを、まだ一部の方しか知らないために大人の活動員が減少気味です。そこで、みなさまにご協力をお願いいたしてお知らせする次第です。どのクラブでも、また経験がなくても、さらに都合のつく日だけで、子どもといっしょに活動していただければ結構です。どうぞよろしくご検討をお願いします。

## 活動日 原則として第1・3土曜日

(本年度は、今後12/20.1/17.1/31.2/7.2/21.3/7の6回あります。)

活動時間 10:30～12:15

クラブ名 運動系(サッカー・ソフトボール、バドミントン、  
バレーボール、バスケットボール・卓球)

文化系(将棋、漫画・絵本、手芸、料理、パソコン、  
昔の遊び・折り紙、陶芸)

なお、秋津地域にお住まいでなくても、活動が可能ならば参加できます。  
用具等は、学校で用意します。

連絡先 習志野市立秋津小学校 (TEL) 51-8111 (FAX) 51-8112

## 学校と地域の融合教育研究会

# クラブ活動を地域の人と楽しむには

いつも秋津小学校へのご理解とご支援に感謝申し上げます。

さて、秋津小学校では平成3年度より、4～6年生の全員が行っているクラブ活動に地域の大人の方のご協力をいただいて、一緒に活動してまいりました。このことは、子どもたちにも大人の方にも好評で、他の学校でも取り入れたいとの声がある程です。

つきましては、秋津小学校に事務局のある全国組織「学校と地域の融合教育研究会」では、上記のテーマで「第一回ミニフォーラム」を開催し、さらにより良いクラブ活動の方法を考えあっていくことになりました。

この会は、秋津小学校と地域が連携・融合しあって子どもたちの教育に関わりながら、まちづくりの一環になっているという事例から、秋津のような町を目指したいという方々と、また秋津もさらに良い町を目指そうという方々で構成されているものです。会員は全国におよび、教師・大学教授および教育行政の担当者といった教育関係者のみならず、PTAや自治会・老人会の役員、マスコミ関係者等というように幅広く(どなたでも会員になれます)、発足4か月で80人ほどの会員数になっております。

今回は、秋津小学校を例に、具体的な苦労話や裏話などで、他の地域からの参加者にも明日からの方向が見えるような話し合いにしていきたいと考えております。

どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上(おひとりでも)是非ご参加ください。

**と き** 1997年12月20日(土)2:00~5:00

**ところ** 秋津小学校コミュニティルーム

**内 容** クラブ活動への保護者や地域の参加について「その理念や方法」

**会 費** 融 合 研 会 員 - - 500 円

非会員 - - 1.000 円

(当日、年会費《2,000円》を支払って会員になる方は「読売教育賞受賞論文」をはじめ融合研資料をつけて、会員と同額になります)

**申込み** FAX 0474-51-8112 か、TEL 0474-51-8111

で事務局まで。当日でも受け付けます。(夜間は、TEL・FAXとも043-489-7809)

**プログラム** (途中からの参加・退席は自由です)

13:30 ~ 受付

14:00 ~ ミニフォーラム開始

提言 - - 秋津小学校教員より

秋津地域のクラブ活動員より

全国の融合教育の現状(日本教育新聞記者より)

討議 - - ・大人を加わりやすくする方策について

・教師の理解を得やすくする方策について

・子どもが喜べる協力・連携の仕方について

・長続きできるような方策について

17:00 ~ 懇親会(会費 1000円程度、希望者で)

## アンケート

「クラブ活動のことで、ききます。」

クラブの名前( )クラブ

あなたの学年 ( )年生 (男・女)

次のことに答えてください。書きたくないときは、むりに書かなくてもいいです。

1. あなたのクラブは、地域のおじさんやおばさんがいっしょに活動していますか。

( 1 ) いっしょに活動している

( 2 ) 地域の人はいない。

( 1 ) と答えた人だけに聞きます。

2. 地域の人がいっしょで、「いいな」と思うことはどんなことですか。

( ) とくはない

( ) ある。

それは、どんなことですか。なんでもいいですから書いてください。

---

---

---

3. 地域の人に「こうしてほしい」と思うことありますか。

( ) とくはない

( ) ある

それは、どんなことですか。なんでもいいですから書いてください。

---

---

---

これでおわりです。ありがとうございました。



1のところで( 2 )と答えた人だけに聞きます。

4. あなたのクラブも、地域のおじさんやおばさんがいた方がいいと思ったことがありますか。

( ) 思ったことは、ない。

( ) 思ったことが、ある。

それは、どんなときですか。どんなことでもいいですから書いてください。

---

---

---

これでおわりです。ありがとうございました。

アンケート（無記名）  
「クラブ活動について」

融合教育研究会の「ミニフォーラム」で、秋津小学校のクラブ活動の実情について発表します。そこで、次の点について先生方のご意見をお聞かせください。集計後、連絡します。秋津小学校では、平成3年度から地域の方のクラブ活動員体制をしていますが、このことについて伺います。現在、地域の方と共に活動している・いないに関わらず、思っていることで答えてください。

1. 地域の方がいっしょで、「良い」と思うことはどんなことですか。

( ) とくにない

( ) ある。

それは、どんなことですか。なんでもいいですから書いてください。

---

---

---

2. 地域の方がいっしょで、「良くない（困っていること・課題と感じていること）」と思うことはどんなことですか。

( ) とくにない

( ) ある

それは、どんなことですか。なんでもいいですから書いてください。

---

---

---

3. その他、クラブに関することで何かご意見がありましたら書いてください。

---

---

---

ありがとうございました。（集計の都合上12月17日（水）までに、教頭先生まで）

## 次号の内容（ラフ）

### **会 長 所 感**（NO. 2）

- 1．何故、融合研の設立を思い立ったか。
- 2．何故、読売教育賞に応募しようと思ったか。
- 3．自分の教育者人生とは何であったか。  
素直な気持ちで。

精神的に障害のある方をどう遇するか

校長は、スポークスマンになる。地域に対して、職員に対して。

熱心な活動協力の方と児童の意向・教育的な判断。子どもを大人のしがらみの犠牲にしない。

等々。ここでは、発会の時の設立趣意書や総会宣言等から、数回に分けてミニフォーラムのテーマとして分けて検討できるものを計画的に予定する。そのた、連合PTAでの市同等から生まれてきた新たな課題も計画に入れる。

学校経営のスタイルは、「人は石垣、人は城。」

資料案内

- ・主に国社研でのものを入れる
- ・岸田さんの論文